

ナルニア国物語

魔術師のおい

6

C・S・ルイス

土屋京子・訳

玉樹庵・画

(光文社古典新訳文庫刊)

すごく
いいこと
思い
ついたんだ

ね

ほかの水たまりは
どうなってるん
だろう？

どういう
意味？

だってさ

この水たまりに
飛びこめば
ぼくたちの世界に
帰れるのなら

ほかの水たまりに
飛びこめば
ほかの世界に
行けるかもしれないって
ことじゃない？

せんぶの
水たまりの下に
ひとつずつ
世界があるとすれば

第6話 世界のあいだの森(後編)

でも
ここって
もう

あんたの
伯父さんが
言ってた

《別の世界》だか
《別の場所》だかに
着いてるんじゃないの？

あんたの
話だと――

アンドリュー
伯父さんなんか
どうだっていいよ

伯父さんは

《別の世界》が
一個だけしか
ないような
言い方をしてた

でもさ

伯父さんなんか
何もわかって
ないんだよ

自分でここに
来る勇気も
なかったんだから

それが何十個も
あるとしたら？



ううん

この森は
世界なんかじゃ
ないと思う

この森は
言ってみれば
中間の場所
なんだと思う



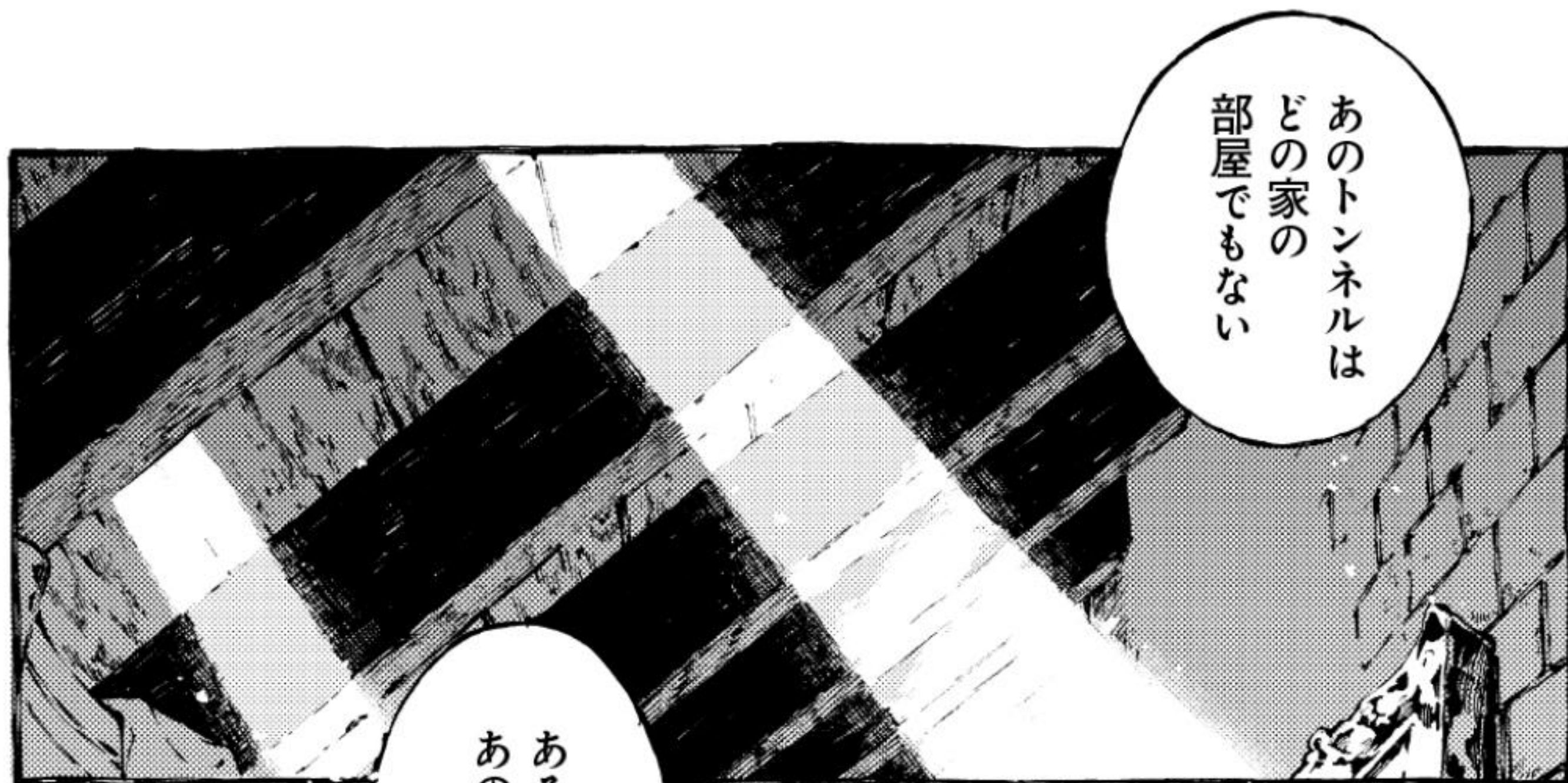
つまり

この森は
《別の世界》のひとつに
すぎないってこと？

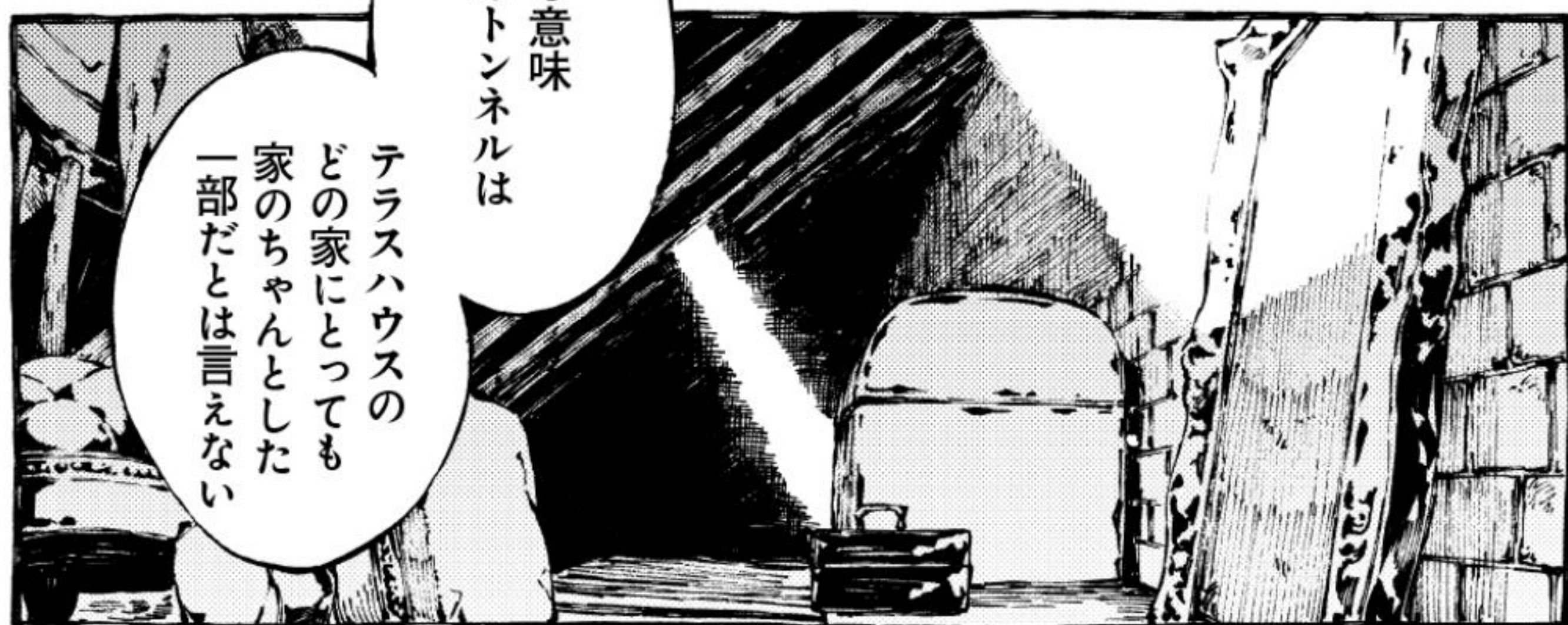
聞いて

わからない？

うちの屋根の
下にあった
トンネルのことを
考えてみて



あのトンネルは
どの家の
部屋でもない



ある意味
あのトンネルは

テラスハウスの
どの家にとっても
家のちゃんとした
一部だとは言えない



この森も
それと同じなんじゃ
ないかな？



だけど
いったんトンネルに
はいっっちゃえば

そこから
テラスハウスの
どの家にも
出てくること
ができる



どの世界でもない
場所だけど

ここに来れば
ここから
すべての世界に
はいれる

……みたいなの

…でも

そう考えれば
すべてが
説明できる

たとえ
そうだと
しても――

だから
この場所は
こんなに静かで
眠くなるような
場所なんだ

ここでは
何ひとつ
起こらない

家と
同じだよ

人が
話したり

何か
したり

ごはんを
食べたりするのは
家の中なんだ

壁の裏
とか

天井の上
とか

床下とか

ぼくらの
トンネルとか

そういう
中間の場所では
何も起こらない
だろう？



だけど
トンネルを通れば
どの家にも
はいれるんだ

だから
この場所を経由すれば
どの世界にでも
はいることが
できるんだと思う！

さつき出てきた
水たまりに
飛びこむことなんか
ないんだ

少なくとも
いますぐには



〈世界の
あいだの森〉
ってことね

とっても
すてき

ね

やって
みようよ





ちよつと
待って

どの水たまりに
飛びこんでみる？



わたし

まずさっきの
水たまりから
ほんとうにうちに
もどれるかどうかを
確かめないうちは

新しい
水たまりを
試してみる気は
ないわ



それだつて
うまくいくかどうか
わからないのに



そんなの
やだね



なるほどね

それで
アンドリユー
伯父さんに
つかまつて

ひとつも
楽しい思いを
しないまま
指輪を取り上げ
られちゃうわけ？

うちに帰る
水たまりを

とちゅうまで
行ってみる
っていうのは
どう？

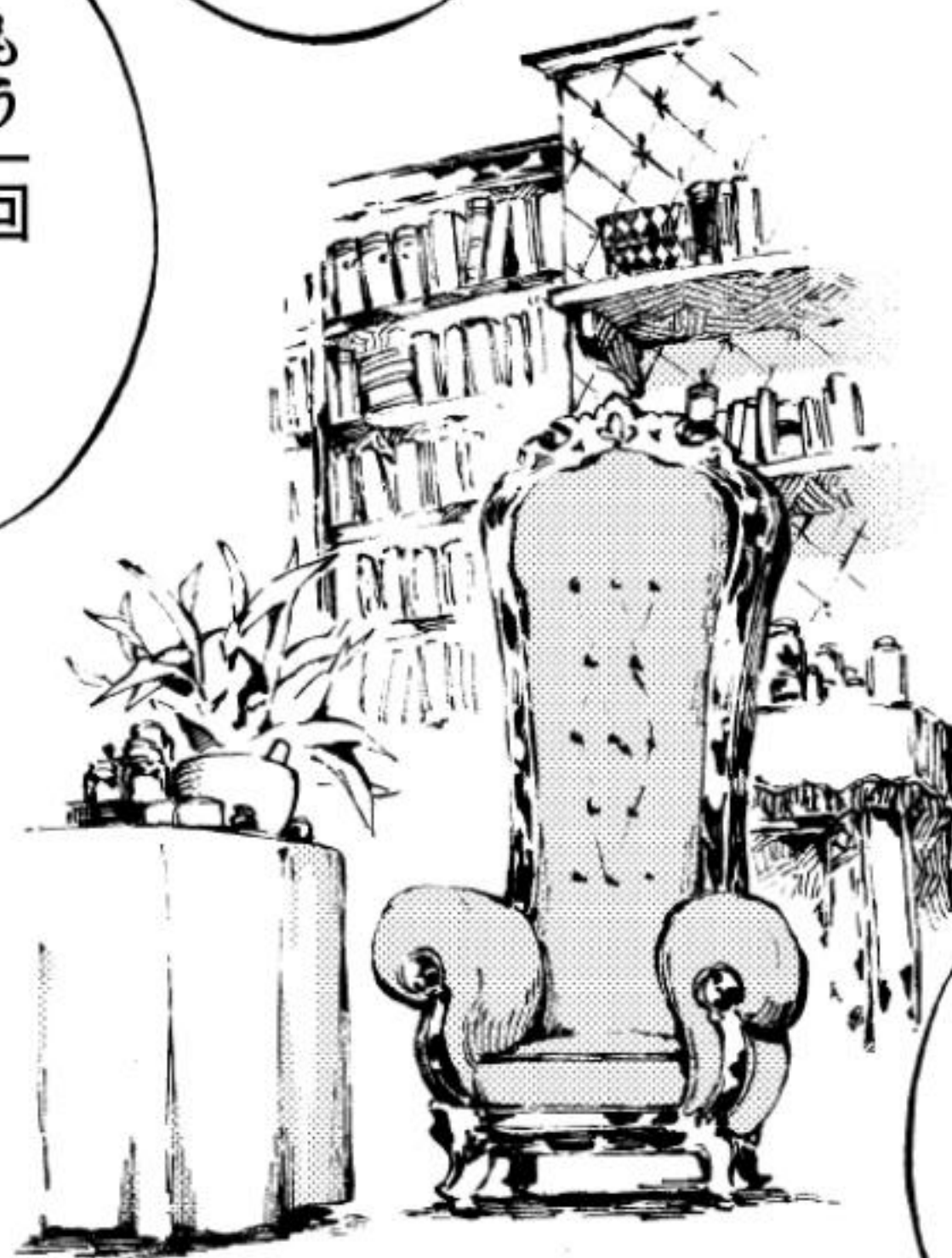


ちゃんと
行けるかどうか
確かめるために



それで
ちゃんと
もどれそうなら

ケタリーさんの
書斎に
すっかり
もどっちゃう前に
指輪を取りかえて



もう一回
上がってくれば
いいじゃない？



とちゅうまで
行くなんて
できるのかな？

だって
上がって
くるとき
時間がかかった
でしょ？

だから
帰るときも
少し時間が
かかると思
うんだけど



ふんふん。。

もとの世界に
ちゃんともどれると
わかるまで、

いつさい
新しい世界の冒険には
つきあいませんからね





緑は安全の色って
いうふう to 考えれば



どっちがどっちか
自然に
おぼえられるよ



ケタリーさんの書斎に
もどれそうだと
わかった瞬間



ほくが
叫びたい

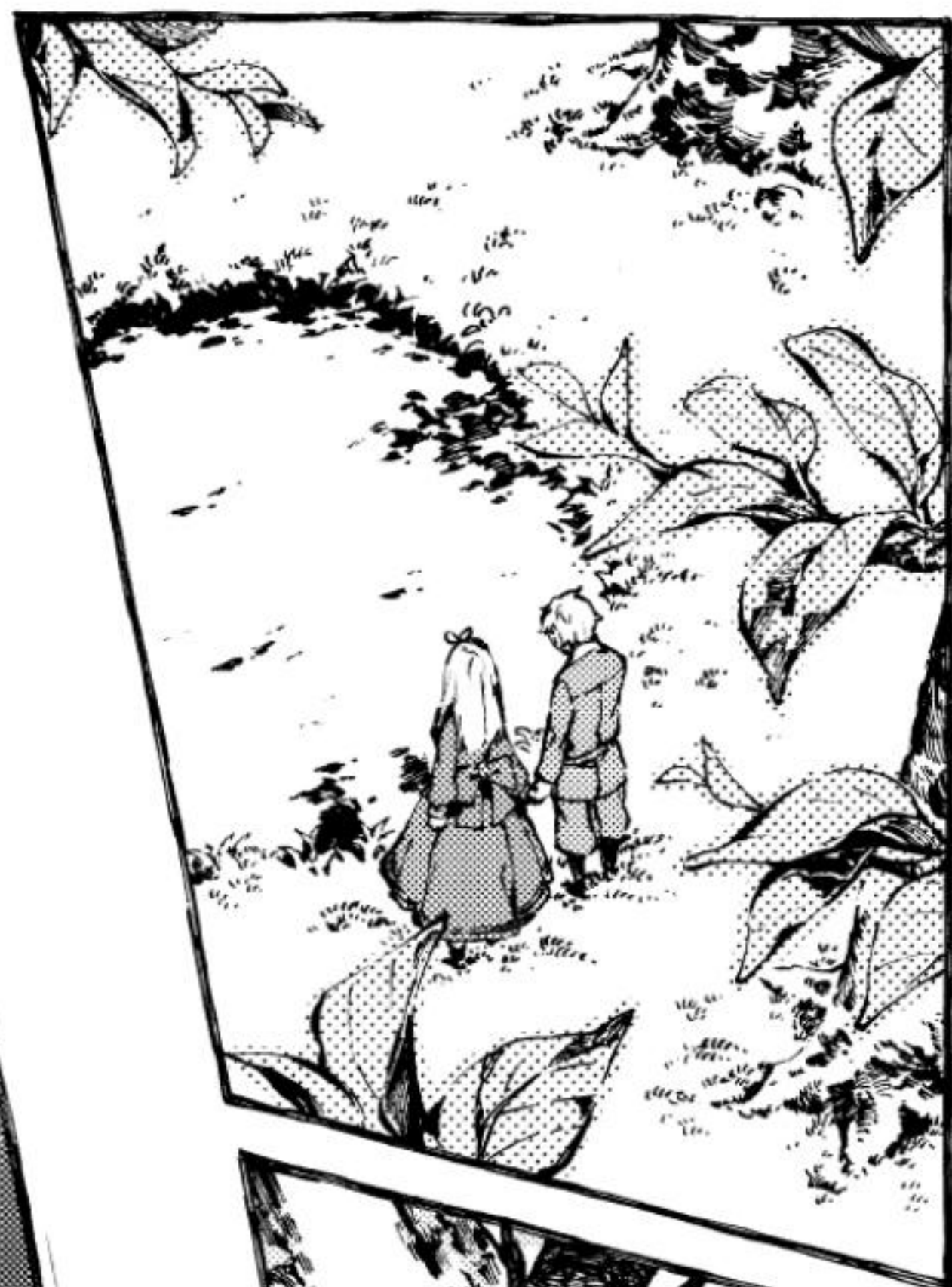
イヤよ

...



私が
「チェンジ！」と
叫んだら

緑の指輪を
はずして
黄色の指輪を
つけるのよ





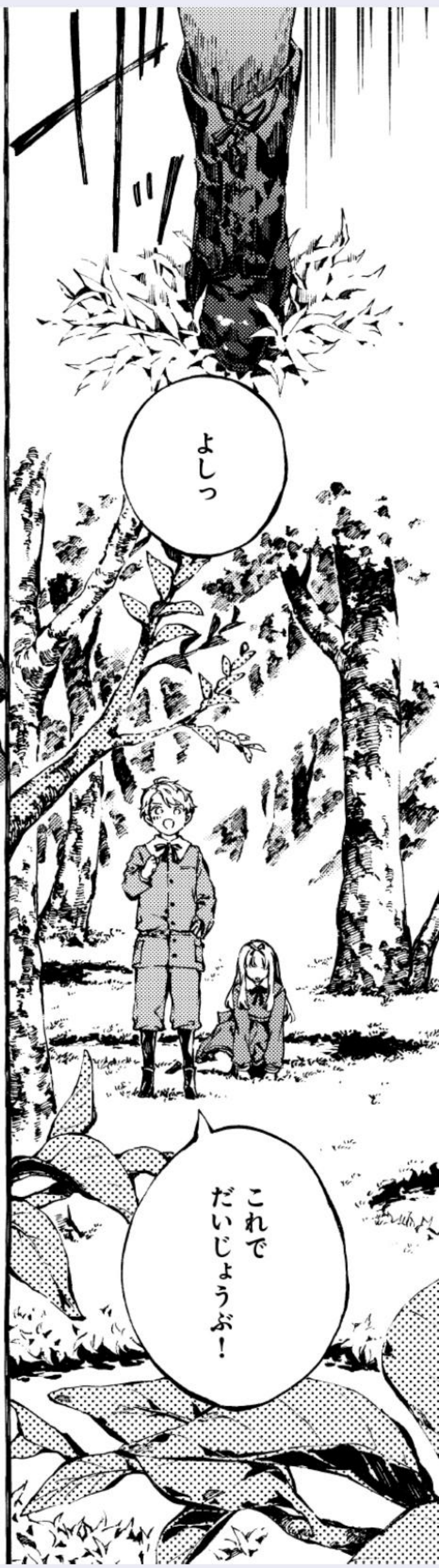












よしっ

これで
だいじょうぶ!



それじゃ

これから
冒険だ!

どの
水たまりでも
いいよ



おいでよ
ポリー

あの水たまりに
飛びこんでみよう



待って!









この
水たまりに
しよう

未知の
水たまり…

それ！



くそっ！



頭にくる！



こんどは何が
まちがってたんだ？

ちゃんと
黄色の指輪を
つけたのに

伯父さんは
行きは黄色って
言ったのに……！



どういうこと
なのかしら？

指輪の魔力について
ひどく
まちがった考えを
抱いていたのだった

——実は
アンドリユー伯父は
〈世界のあいだの森〉の
ことなど
何も知らなかったのだ

どちらの指輪も
もとの材料は
この森から出たもので

黄色い指輪の
材料には

〈世界のあいだの森〉
もとの場所に
もどろうとする
性質が

緑色の指輪の
材料には

〈世界のあいだの森〉
もとの場所から
離れようとする
性質があったのだ

The Wood Between the Worlds

yellow

green

デイゴリーが
このことを
きちんと理解
できたのは

もっとあとに
なつての
ことである――

とりあえず
緑色の指輪をつけて
新しい水たまりに
飛びこんで

何が起ころか
見てみよう

そっちが
その気なら
受けてたつわよ

どっちの指輪だって
新しい水たまりには
効き目がないに
ちがいないわ

どうせ
また水を
はねちらかす
だけよ



—
116

三

それ！